

卒業おめでとう！

卒業生へ 贈る言葉

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この先、社会に出ればきっと辛いことがたくさんあります。ときには理不尽なこともあるかもしれません。そんなときでも、逃げ出さず辛抱強く取り組んでください。そうすれば自然と気付きが生まれ、自らの成長へと繋がるでしょう。また、素直で謙虚な姿勢があれば、その成長はより大きなものになるはずです。

マイナス(－)に進む日よりプラス(＋)に進む日が多くし、「自分」という変数xを無限大∞で乗るよう、歩み続けてください。ひとまわり大きく成長した皆さんに、またいつか会えることを楽しみにしています。

301担任 梶川 千友

卒業後、また高校に顔を出すことがないように。

活躍の噂が聞こえてくるくらいがちょうどいい。

卒業おめでとうございます。

302担任 鈴木 広太

3年生のみんなへ
御卒業おめでとうございます。

予想もしなかった激動の高校生活となり、悔しい思いをしたり、いろいろと考えさせられる3年間になったと思います。このような中でも、みんなが笑顔でいてくれることにこちらが励まされる日々でした。

変化が加速していく社会の中で、自分らしく楽しく過ごしていってくださいね！

303担任 小川 幸子

卒業おめでとうございます。
のび太君がこんなことを言っています。
「いちばんいけないのは自分なんかだめだ」と思ひ込むことだよ
どんな人も自分が思っている以上のことができます。
もちろん、生きていけば良いことばかりじゃありません。
でも、たくさんの人との出会いの中でつられてきた今の自分を大切に。
人も大切に。
皆さんに出会えてよかったです。3年間ありがとうございました。

304担任 鶴岡 昌毅

今年度、諸般の事情で毎朝モーニングコールをすることになりました。そして、しなくて良かったです、...
あとと鬱陶しいなと思うことでも、なくなるとなんだか寂しくなることっていっぱいあります。
あるだろうと思い込んでるものに感謝できる人になって欲しいです。無くなるが初めてありがたみに気が付きますが、その時はだいたい手遅れです。だから、いつでもベストを尽くしてください。
みんなには、生きていること自体にすでに価値があります。自分を大切にこれからも誰かにとっての大切な人であり続けてください◎3年間ありがとうね

305担任 高岡 寛貴

3年間、たくさんの人と出会いました。たくさんの経験をしました。皆さんはどうでしたか？うまくいったこと、誇らしいこと、失敗したこと、後悔すること、さまざまなことがあったと思います。
＜みんな＞がいるからこそ、今の自分があります。＜みんな＞の間に分断や断絶があることはもったいないことです。仲良しの＜みんな＞、クラスの＜みんな＞、学年の・学校の＜みんな＞...これから出会う＜みんな＞、今生きている＜みんな＞、これまで生きてきた＜みんな＞、
たくさん見て、聞いて、学んで、＜みんな＞の範囲をどんどん広げていってください。これからの皆さんの活躍を応援しています。卒業おめでとう、3年間ありがとう。
306担任 坂井 柚香

卒業おめでとうございます
この3年間はコロナをはじめ多くの困難がありましたね。これからもさまざまな困難が人生にはありますが、同時に多くの喜びもあることでしょう。これまでの人生で、あるいは高校生活で学んだことを活かして幸せを目指していきましょう。
その時に、一つお願いしたいことは自分自身の幸せになるために頑張ると共に、自分の周りにいる人の幸せにも少しの力を貸してほしいです。力を貸す方法はいろいろあります。困難を抱えている人の手助けやアドバイスもあるでしょう。見知らぬ人を助けるための献血や、募金でもいいです。
助けることで自分自身の世界を広くしてほしいのです。そしてお互いに幸せを目指すための仲間になるのです。大人として誰もが幸せを目指す社会を作っていきましょう。
309担任 岡田 曉彦

『凡事徹底』『忍耐と我慢』『自立と自律』
誰からも好かれ、愛される人になってください。
卒業おめでとう。

310担任 伊吹 嗣平

映画とは何かーnothing(何ものでもない)
映画は何を望むのかーeverything(すべてを望むのだ)
映画には何ができるかーsomething(わずかな何かだ)
ジャン＝リュック・ゴダールという映画監督のことばです。
「これでいい」ではなく「これがいい」を合言葉に。
しなやかであること！卒業おめでとうございます。

311担任 久野 嵩大

胸を張って生きる
己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと心を燃やせ
歯を喰いしばって前を向け
君が足を止めて蹲っても時間の流れは止まってくれない
共に寄り添って悲しんではくれない
煉獄杏寿郎

卒業おめでとう

312担任 鈴木 乃維

同朋和敬

2

学校通信

Doho High School Community Press

Vol.224 16 FEB 2022

同朋高等学校

学校通信編集委員会

犀川・小堀

名古屋市中村区稲葉地町7の1

TEL 052-471-1159

同朋和敬

修学旅行・報恩講特集

Doho High School Community Press

※撮影の為、マスクを外している写真もあります。

分

散登校で2学期が始まったころは、修学旅行を行えるかすら不安な状態であったが、3年音楽科の1年越しの修学旅行、2年普通科・商業科の修学旅行が12月に行われた。2普商の生徒たちが訪れた沖縄に「いちやりばちよーでー」という言葉がある。「行き逢えば兄弟」すなわち「一度会えば、兄弟のようなもの」という意味である。一晚共に過ごしただけの伊江島の家族と別れるとき、多くの涙が見られた。一度会えば、兄弟のように大切に思い合う関係ができるのならば、3年間に共に過ごした仲間は、どれほど大切なものになるのだろうか。

同朋高等学校長 滝 敏行

Schedule [行事予定]

2月	17日 木	見真の日
	19日 土	卒業式
	21日 月	2年生音楽科学年末考査(～25日(金))
	28日 月	学年末考査(～3月4日(金))
3月	7日 月	1年生自主活動日、2年生家庭学習日
	9日 水	2年生「食育」講演
	10日 木	1年生キャリア教育
	11日 金	1年生家庭学習日、2年生自主活動日、1年生MP
	14日 月	家庭学習日
	15日 火	進級判定発表、教科書渡し
	16日 水	家庭学習日(～18日(金))
	19日 土	修了式
	20日 日	2年生MP

8

1

令和3年度「愛知県私立学校経常費補助金」の
交付金額が決定しました

保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございました。また、助成金署名や地域ごとに開催された「地域別県民文化大祭典～オータムフェスティバル」など、私学助成拡充の運動にご尽力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

令和3年度の同朋高等学校への愛知県私立学校経常費補助金の交付額が以下のように決定いたしました。皆様のご協力により、補助額が引き上げられています。今後も教育条件の一層の充実と財政の安定化に向けて引き続き努力してまいります。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

同朋高校助成金推進協議会

一般補助	特別補助	合計	生徒数	一人当たりの補助金
481,390 千円	16,923 千円	498,313 千円	1,519人 (2021年 4月1日現在)	328,053円

2021年度

修学旅行



修学旅行を振り返って

普通科・商業科の生徒が3団に分かれて無事「沖縄修学旅行」に行ってくることができました。コロナ感染症対策で各行事が中止となり、この修学旅行は2年生にとっては特別なものでした。天候に恵まれ時に汗をかきながら、沖縄の青い海と空に囲まれた4日間は大変有意義な時間で、豊かな自然や沖縄の文化・伝統工芸に触れ、日常では感じることでできない貴重な経験になったと思います。

初日は海から始まる平和学習をコンセプトに、沖縄平和ネットワークの方にガイドをしていただきながらテーマに沿っての学びを掘り下げました。日誌にメモを取り、記念碑や説明のあった場所を写真におさめるなど主体的に学ぶ姿が見られました。その夜のHRではクラ連企画で沖縄の星空をみることに。残念ながら星空をみることでできない団もありましたが、「みんなで星を見る」という想い、仲間と空を見上げる姿、それ自体が天体観測の良さなんだと認識しました。

2日目のコース別研修の後、夕方からは伊江島に渡り民泊体験。民家の方の「おかえり」の一言で最初はとまどっていた生徒もすぐに伊江島の子になっていました。おじい、おばあからたっぷり愛情を受け、家庭料理を食べたり、サーターアンダギーを作ったり、島内を

巡ったりして帰りのフェリーでは「いってらっしゃい」「ってきます」と涙ながらのお別れになりました。4日目はコース別で伝統・文化体験。短時間ですが、沖縄の伝統文化に触れることができました。

各教科での事前学習や学習・平和・演芸の各委員、クラ連の事前準備など、素晴らしい修学旅行の裏では多くの人の準備や関わりがあったことを忘れてはなりません。多くの方のご協力のおかげで生徒の心に残る修学旅行ができました。お世話になった皆さま、ありがとうございました。

2年生学年主任 本田 裕規



平和学習について

修学旅行では、1日目を中心に「平和学習」を行いました。そもそも「平和」とは何でしょう。大事だと分かっているけれども、求めているけれども、具体的な言葉にすることが難しいものが「平和」です。私たちはそんな抽象的な「平和」を考え続けなければいけません。そのため、事前学習で沖縄戦について学び、実際に沖縄では、テーマごとにフィールドワークを行いました。そして事後学習では、学んだことや感じたことを共有し、「平和」について考えていきます。

同朋高校では、「共なるいのち」を合言葉に、「他人とのかかわりの中であらゆる差異(ちがひ)を認め合い、それぞれの個性が輝くような豊かな関係を作ること」を目指しています。

修学旅行で私たちが立ったあの沖縄の地では、76年前に地上戦が行われ、今でも基地問題が続き、さまざまな差異や葛藤が渦巻いています。そのような問題を抱えながらも、沖縄にあった美しい海や波の音、道端に咲く南国の花やそこに集まる鳥の鳴き声といった豊かな自然や文化は、私たちに大事なものを問いかけていると思います。

また、修学旅行という非日常を、友人やクラスメートなどの集団で過ごす中で、共に笑ったり泣いたり怒ったりしたと思います。人間関係の中にもたくさんの差異があります。

このような沖縄の地で修学旅行を過ごしたこの時間は、「平和」を考えるきっかけを与えてくれたと思います。

「差異(ちがひ)」を認め合い、平和で豊かな世界をつくる「わたし」になるための学びは沖縄から日常へと移ります。

修学旅行平和学習担当 教員 名知 佑基

今年度の修学旅行では、事前に平和宣言文を作成するのではなく、現地で直接学ぶなかで気づいた思いや言葉を活かして、事後学習の一環として作成をしています。



伊江島の人たちのように

私はこの修学旅行で、人とつながることの大切さをものすごく濃く学んだ。特に、伊江島民泊ではそれを痛感した。最初は「知らない人の家にいきなり泊まる…?」と不安感が強かったが、民泊先の方がわざわざ夜に車を走らせ自分たちに星空を見せてくれたり、翌日には島中のいろいろな場所を巡らせてくれたり、たった一日とちょっとした付き合いなのにこんなにたくさんのことを体験させてくれるのはどうしてだろうと現在も答えが出せないでいる。

伊江島は戦争があった地で今でも問題があってとそういう面だけではなく、普段の穏やかな生活風景や人の温かさに触れられて、「あっ、自分も伊江島の人たちのように他人に優しくできて喜ばせてあげる人になりたい」と学校では教えてもらえない、人間として大事なことを学ばせてもらった。

207 上垣内 実果子(名古屋市立名南中学校出身)



「そうだ。星、見に行こう」

僕たちクラ連は学年のみんなにきれいな星をみながら、修学旅行を振り返り、友人との絆をよりいっそう深めてほしいという思いから、一日目の夜のHRの時間に、星空をみることに決めました。当日星を見る場所を決めるために、僕は南城市役所に電話をしました。電話を掛けるときは心音が聞こえるほど緊張したのですが、担当していただいた方はとても気さくに対応してくれました。その方は僕たちが星を見るところは南城で一番きれいにみえると教えてくださったので、不安もなくなり、楽しみになりました。そして、当日僕たちの団は天気がよくて、満天の星空をみることができました。準備してきたHRの企画が形になったことにほっとしました。みんなが目を輝かせながら星を見ていたり、友達と一日の振り返りをしていたりするのを見て、やってよかったとうれしくなりました。

208 毛利 快靖(北名古屋市立白木中学校出身)



自然豊かな沖縄が

沖縄でアメリカ軍基地が沖縄県民に与える影響を学びました。まず騒音問題として、米軍航空機のすさまじい音で家が揺れ夜も眠れず不眠症になる人が続出しているということがあります。また、町で酔っ払った兵士に多数の県民が暴力に合う事件があったということです。米軍基地移設で沖縄のきれいな海が埋め立てられ貴重なサンゴ礁が消滅していく沖縄特有の海洋生物の住居が失われていくということがあります。米軍の基地があることによって生活が脅かされたり故郷が少しずつ破壊されたりして、人々の体や心に影響が出ていると思いました。

今回の修学旅行で、沖縄の人たちは本当に優しく人間性が豊かだと感じました。沖縄で生活することで人間本来の姿に帰れる気がしました。でもそんな沖縄の人たちの中で戦争の悲惨さが残っていると感じました。

沖縄はリゾート地としてのイメージが強いですが、住んでみないとわからないような沖縄の人々の苦しみを伝えていきたいと思います。

213 加藤 龍太郎(名古屋市立日比津中学校出身)



修学旅行日程



	中部国際空港	——	那覇空港	——	コース別平和学習	——	ホテル	※夕食後HR
1日目	コース1	子供の沖縄戦	コース2	女子学徒の沖縄戦	コース3	北谷・嘉手納基地問題		
	コース4	浦添・宜野湾基地問題	コース5	読谷の沖縄戦～戦後				
2日目	ホテル	——	コース別研修	——	本部港	——	伊江島民泊	
	コース1	沖縄県立博物館・美術館+美ら海水族館	コース2	クリアカヤック+古宇利島タワー				
	コース3	シュノーケリング+フクギ並木・エメラルドビーチ						
	コース4	黒糖づくり体験+プセナ海中公園	コース5	ジップライン+美ら海水族館				
3日目	伊江島内研修(民泊毎体験学習)	——	伊江港	——	本部港	——	ホテル	
4日目	ホテル	——	コース別研修	——	那覇空港	——	(飛行機)	中部国際空港
	コース1	サンゴ染め体験	コース2	琉球藍染め	コース3	やちむん体験	コース4	琉球ガラス体験
							コース5	ウージ染め体験

同朋オープン・フォーラム

11月6日(土)に同朋高校にてオープン・フォーラムが行われました。今年度は緊急事態宣言で実行委員会が充分開けなかったことなどから規模を縮小し、保護者・生徒・教員・ゲストの計36名で実施しました。

『「最幸の人生の見つけ方」を深める』をテーマにして、全体会と分散会を行いました。全体会では卒業生で現在特別支援学校の教員である矢野良太氏と名古屋大学大学院教授の石井拓児氏に講演をしていただきました。4人ずつの分散会では「もしパナカード」ゲームで自分の人生で大切なことを考え、次にロールプレイとしてそれぞれ進路に悩む父・母・子ども・教員になりきり子どもにとっての幸せをそれぞれ考えました。

「もっと難しい話かと思っていたけれど、身近な話や今後のヒントがいただけた。」「自分とは違う考えや話を聞く機会は貴重だった。」「先生や生徒の話が聞けてよかった。」など三者で語り合うことの大切さを実感したという感想が多く寄せられました。

同朋オープンフォーラム担当 教員 柘植 さとみ



税の作文

税金を理解することの大切さ

私は今まで税金についての知識が全くといっていいほどありませんでした。税金に関して興味を持つといえば、消費税が上がるというニュースを見てマイナスなイメージをもつくらいでした。消費税が上がる度に、どうして増税するのだろうかという疑問がありました。しかし、学校で行われた租税教室という講義で税金に対しての考えが大きく変わりました。私は、税金について何も知識がないから税金を払うということに疑問を抱き、マイナスなイメージを持っているのだと思いました。私と同じように、知識を身に付けることで、税金を払うことについて疑問を持つ人が少なくなると思い、私も税金についての知識をさらに身に付けて伝えることが大切だと思いました。

集められた税金はさまざまな公共サービスに使われています。例えば、医療費や消防、警察、その他にも道路工事や公園の整備、私たちに一番身近なものでいえば、学校で使う教科書やパソコン、実験器具、体育用具などたくさんの場面で税金は使われています。これを知ったとき、税金とは私たちに必要不可欠なもので、税金がないと私たちは健康で安全に暮らすことができないのだと気がきました。税金とはそんな生活を送るための会費であり、それを払うことによって私たちの暮らしは守られているのだと思いました。

また、少子高齢化という問題の面で税金という言葉をよく耳にします。高齢者が増えると、税金が使われている医療や年金、介護などに必要なお金が増えていくということになりま

す。しかし、その高齢者の生活を支える若い人の数は現時点で減少しており、これからさらに減っていくことが予想されています。税金について知ること、少子高齢化の問題への関心にもつながるのではないかと思います。

税金の使い道を知っただけで、税金に対しての考えが大きく変わります。ほかにもたくさんの理由があって税金というのは存在しているのです。これはその一部に過ぎません。今の時代、少し興味を持ち、知ろうとただで知識を得る方法がたくさんあります。一人でも多くの人が税金について興味を持ち、知識を身に付けることが経済の成長につながるかもしれません。そのためには、たくさんの人が税金を理解し、税金に対してのイメージを変えることが必要だと思いました。

213 廣瀬 巴瑠妃(名古屋市立高針台中学校出身)



2年生音楽科校外研修

音楽の形

私たちは静岡県にある2つの施設見学に行きました。
まず初めに浜松の『楽器博物館』を訪れました。そこには、金色に輝く楽器や、18世紀から現代までの楽器が約1500台展示されていました。特に印象に残っているのがチェンバロについてです。実際にチェンバロを使った説明で、国によって使われ方が違うことや音が鳴る仕組みを学ぶことができました。ほかに昔から今にいたる楽器を体験できるコーナーがあり、普段は触れない楽器を演奏することができるなど、誰もが楽しめる場所だと思いました。

次に訪れた掛川の『ヤマハピアノ工場』では、ピアノがたくさんの日月を経て、さらに熟練された職人さんの手によって丁寧に造られていることを知り驚きを感じました。

この体験を通して音楽への向き合い方や、考え方が変わりました。時代が変化するように、音楽もより演奏の幅が広がるように変化していることに気付きました。それと同時にその時代の楽器や演奏方法を知り演奏の仕方を選ぶ必要があると思いました。

215 阿比留 和香(名古屋市長猪子石中学校出身)



3年生音楽科修学旅行

360度すべての景色が非日常的なものだった。ヨーロッパに行けなかったことに悔いは残るが、私の中で何か大きな変化を感じた4日間だった。

一日目、生まれて初めての飛行機、初めての九州、初めて見る景色。小さな子どものように、無邪気にはしゃいだ。すべてのことに、わくわくが止まらなかった。

二日目、人間の歴史の黒い影、戦争の惨禍を目で見て、いろいろなことを感じた。バスガイドの方の話を聞いて、少し寂しくなった。一期一会という言葉を想った。

三日目、初めて絵を見て泣いた。芸術というものが心に訴えかける力の強さを思い知った。

四日目、最終日。蝶々夫人を鑑賞し、泣いてしまった。自分が思っていたよりもずっと音楽は素晴らしいものだった。日は沈み、東京駅へ着いた頃、言葉にできないような感情があふれた。いつまでも続いてほしいような、新しい出会いが待ち遠しいような、不思議な感覚だった。

一期一会、一生で一度きりの出会い。12組の仲間と、先生との出会いは、自分の中で一番輝く宝物になったと感じた。

今までで一番楽しく、一番大切な時間をくれた修学旅行だった。

312 松原 蒼馬(岩倉市立岩倉中学校出身)



第22回 合唱・オーケストラ演奏会

12月17日、三学年が揃う最初で最後の定期演奏会が行われた。3年生は一週間前まで修学旅行へ行っており、本番を無事成功させることができるのかとても心配だった。しかし、本番の舞台に立つと今までの心配は必要なかったと思えるほど楽しく演奏することができた。

今回合唱は「ライオンキング」のメドレーを、オリジナルの衣装を着て演奏した。もともとは、女声合唱のみの予定だったが、男声パートを入れたらもっと素敵な合唱になるのではという意見が上がり混声合唱をすることとなった。しかし、男子生徒はオーケストラでの出演もあるため、合唱の授業内で練習することができなかった。そのため、授業後の練習にしか参加

できない彼らだが、歌詞や音取り、振り付け、フォーメーションなどすべてを把握するのは大変だったと思う。そんな大変な中、男子生徒が加わったことで広大な「サバンナ」の空気感を存分に表現できたと思うと彼らに感謝しかない。

今回の演奏会は、合唱・オーケストラともに卒業された先輩方に助けられて実現できた演奏会だった。また、ご指導してくださった先生方、劇場のスタッフさんや音響さん、カメラマンさんなど数えきれない程の多くの方に支えられて成功することができた演奏会だった。これからも常にだれかに支えられて今の自分がある。そして舞台があるということを忘れずに、舞台に立ち続けていきたいと思った。

312 加藤 千尋(名古屋市長猪子石中学校出身)



報恩講

“共なるいのち”を生きる

11月28日は、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の祥月命日です。親鸞聖人の教えを建学の精神とする本校は、本年度は11月26日に1年生の全生徒が体育館に集いました。

報恩講とは、親鸞聖人をはじめ、自分にまでお念仏の教えを伝えてくださった先輩方に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いる御仏事です。同時にそれは親鸞聖人の言葉に出会い、自らの生活を振り返るお勤めでもあります。今年度の報恩講は、各学科の代表生徒による献花、音楽科生徒の「三帰依(パーリ文)」唱和(コロナ禍のため小声での唱和)、その後真宗大谷派学校連絡会中高部会運営委員であり、養照寺僧侶でもある一柳智史先生に短時間、法話をいただきました。一柳先生より仏教の教えについて丁寧に説明していただき、“ともなるいのち”について考えを深めることができました。

報恩講を通してお念仏の教えに出会い、自分を見つめ直し、「同朋」という他者と認め合い、共に生きていけるご縁となれば幸いです。

宗教主任 宮城 道良



Club&Award News

生徒の活躍(10月8日～1月24日まで)

◆音楽科

第75回全日本学生音楽コンクール 名古屋大会本選

声楽部門 第3位 後藤 優子 (312)

■柔道部

第44回尾張名古屋・知多新人柔道体重別選手権大会

男子73kg級 第3位 上島 翔太郎(204)

100kg級 第3位 小池 倅ノ介(212)

女子52kg級 優勝 菊池 律杏(201)

第2位 島田 雫(212)

第3位 白根 小雪(105)

70kg級 第2位 小澤 このみ(209)

78kg級 第2位 廣瀬 巴瑠妃(213)

78kg超級 第2位 岡田 彩花(113)

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会

柔道競技 名南支部予選

女子団体2位、男子団体4位 → 男女とも県大会出場

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技 県大会

女子52kg級 優勝 菊池 律杏(201) → 全国大会出場

女子無差別級 第2位 白根 小雪(105)

第3位 岡田 彩花(113)

■サッカー部

第100回全国高校サッカー選手権大会

愛知県大会ベスト8

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会 サッカー競技

名南支部予選会 優勝 → 県大会出場

■男子バスケットボール部

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会

バスケットボール競技

名南支部予選会 第6位 → 県大会出場

■女子バスケットボール部

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会

バスケットボール競技

名南支部予選会 第7位 → 県大会出場

■バドミントン部

令和3年度知多名南バドミントン選手権大会 女子Ⅱ部

第2位

■ラグビー部

令和3年度第101回全国高等学校ラグビーフットボール大会

愛知県大会ベスト8

令和3年生愛知県高等学校新人体育大会

ラグビーフットボール競技

名南知多支部予選会 優勝 → 県大会ベスト8

■乗馬部

令和3年度東海高等学校 馬術王座決定戦

障害飛越の部 準優勝 西 悠太(306)

令和3年度愛知県高等学校 馬術王座決定戦

障害飛越の部 優勝 西 悠太(306)

■なぎなた部

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会 なぎなた競技

女子個人2位 宇佐美 空虹(101) → 全国大会出場